

製品名: PTP1B (13P19) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe16665**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,IP 1:20-1:50,IF-P 1:200-1:1000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	PTPN1
別名	CPTP1; PTN1; PTP-1B; PTP-HA2; PTPN1;
遺伝子 ID	5770.0
SwissProt ID	P18031
免疫原	ヒト PTP1B の合成ペプチド

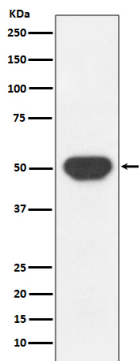
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、酵素活性とアミノ酸配列に基づいて単離され、同定されたタンパク質チロシンホスファターゼ (PTP) ファミリーの創設メンバーです。PTP は、チロシン残基上のリン酸モノエステルの加水分解を触媒します。小胞体アンフォールドタンパク質応答の調節因子として機能するチロシンタンパク質ホスファターゼです。EIF2AK3/PERK の脱リン酸化を媒介し、EIF2AK3/PERK のタンパク質キナーゼ活性を不活性化します。CKII および p60c-src 誘導性シグナル伝達カスケードで重要な役割を果たす可能性があります。細胞の再編成と細胞間反発を調整する EFNA5-EPHA3 シグナル伝達経路を制御する可能性があります。また、MET の脱リン酸化を介して肝細胞増殖因子受容体シグナル伝達経路を制御する可能性があります。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の PTP1B 発現のウェスタン ブロット解析。